

# 入学おめでとう!

## 学校生活楽しんで

今年も佐賀県内の小中学校にたくさんの新入生が入学しました。入学式では少し緊張した表情を見せていた子供たちも徐々に環境に慣れ、学校生活への期待に胸を膨らませています。新小学1年生の声を紹介します。



入学式で緊張した表情を見せる新1年生=伊万里市の大坪小



鳥栖小学校

おおっかなな

ともだちをいっぱいつくて、みんなでのしくがんばりたいです。



六角小学校

きむろ しょうご

龍士兄ちゃんみたいに、勉強と野球を一生懸命がんばりたいです。



東原庵舎西溪校

こしおひなな

おともだちをたくさんつくて、おべんきょうをがんばりたいです。



三日月小学校

さんげつくま

ランドセルをからってあるいていくのが楽しみです。ドキドキワクワク!がんばるぞー!



北茂安小学校

きたもとかほ

ずこうで、おねえちゃんみたいにいろいろつくてみたいです。



能古見小学校

なまぐちま

おともだちとたのしくすごしたいです。おべんきょうもがんばります。



北波多小学校

きたはたあま

べんきょうをいっぱいがんばります。そして、てすとでひゃくてんをとりたいです。



有田中部小学校

ありだはじめ

うんどうをがんばって、かけっこをはやくになりたいです。がっこうたのしみです。



西郷小学校

さいあみ

こくごをべんきょうして、おともだちにたくさんおてがみをかきたいです。



大浦小学校

おつちるま

テストで100点をとれるようにおべんきょうをがんばりたいです。テニスもがんばりたいです。



大坪小学校

おつちるま

ともだちをたくさんつくりたいです。べんきょうもがんばって、はやく小学校になりたいです。



山内東小学校

やまのがりゅうしん

ともだちをつくて、たいいくをがんばりたいです。あいさつもじょうずにいえるようにしたいです。



思育小学校

しゆいしん

きゅうしよくが楽しみです。おべんきょうもたくさん頑張りたいです。

# 佐賀県 P T A 新聞

発行所

佐賀市南佐賀3-11-15  
佐賀県立佐賀東高等学校内  
佐賀県PTA連合会  
☎0952(26)2276

発行責任者

会長 江田 明弘

佐賀県PTA連合会ホームページ  
<http://www.saga-pta.jp/>



子育て応援  
メッセージ

### ともに学び! ともに成長!

♥育もう!  
食卓でつくる家族の絆

♥つながろう!  
元気にあいさつ笑顔でね

♥伝えよう!  
感謝の気持ちありがとう

♥受けとめよう!  
子どもの心メッセージ

♥話し合おう!  
ルールを守って情報モラル

♥見守ろう!  
地域ぐるみで輪になって

35年の信頼と実績



13名全員が教職現場での経験豊富な正社員講師です

小2~高3 目標に応じた各コース

全教科指導 部活や習い事との両立もできます

英検・漢検・数検 の受験もできます

オンライン英会話

2023年 合格実績  
中学受験

致遠館中  
26名  
附属中 7名  
中学受験に実績あり!

大学どこを目指す?? 自習室完備

### 丸田塾高等部 開校!

お問い合わせは各教室まで!

- ◆兵庫本部教室 ◆佐賀駅前教室
- ◆城北教室 ◆大和教室
- ◆新栄教室 ◆鳥栖教室
- ◆小城三日月教室

丸田塾 HP



第44回 佐賀県PTA新聞コンクール

中原小、牛津中が最優秀



1次審査を通過した作品を審査する県PTA新聞編集委員ら＝佐賀新聞社

小 中学校のPTAや育友会が発行する広報誌の完成度を競う「第44回佐賀県PTA新聞コンクール」の最終審査が4月20日に佐賀新聞社で開かれ、小学校の部の最優秀賞に中原小の「なかばる」、中学校の部の最優秀賞に牛津中の「飛翔」が、それぞれ選ばれました。小学校6校、中学校4校の上位作品が全国コンクールに出品されます。

審査講評

佐賀新聞社 編集局長 桑原昇



人の手が作り出すもの

小学校の新1年生に「将来なりたい職業は？」と尋ねたら、男子の一番人気は「警察官」だったそうです。女子の間でも人気は年々高まっているのだとか。そんな新聞記事に添えられたベスト10には、男子が「スポーツ選手」、消防し

「スキューバ」女子は「芸能人・歌手・モデル」看護師「保育士」が上位を占めました。簡単な質問をすれば、すぐに巧みな文章で答えてくれる人工知能(AI)が話題です。人間の働き方も大きく変わるかもしれませ

ん。子どもたちは否応なくAIとの共存を迫られる世代。将来の夢に、きつとなくならない「人にしかできない」仕事が目立つのも、時代の投影に思えます。大人はどうでしょう。「人にしかできない」ことに、しっかり目を向けているでしょうか。PTA新聞もAIが作ってくれたら…そんなため息が漏れてはいませんか？ AIに「言葉」は分かっても「心」は分からない。それを伝えるのが「人にしかできない」メディアの役割です。最優秀賞に輝いた中原小

「なかばる」や牛津中「飛翔」は、企画や取材に手をかけ、人の息づかいを届ける熱意が見えました。以前全国PTA協議会の「家族の風景」三行詩コンクールに印象的な一篇がありました。不完全な私が子育てしている／不完全だからこそ／考え悩み、一歩、一歩」 万能のプログラムでなく、不完全な人間だからこそ伝えられるものがきつとあるはず。新聞作りも五感を働かせて、考え、悩み、一歩、一歩です。



小学校の部 最優秀賞 中原小P 「なかばる」



必要な情報を分かりやすく

1面は体育大会を特集しており、中でも応援合戦の写真や各団長の大会にかける熱い思いが目にとまりました。2、3面も体育大会の特集が続ぎ、躍動的な競技写真などから、活気ある大会の様子が十分に伝わってきました。卒業を控えた3年生による「支えてくれた人への感謝の言葉」では、普段は照れくさくて言えないような言葉まで掲載されており、温かい気持ちにさせてもらいました。また、全校生徒を対象にしたアンケートの結果報告や、PTA運営のあり方についての記事、新制服の情報なども載せられており、必要な情報が届く分かりやすい新聞でした。

(溝口和則 編集委員)

運動会の準備、生き生きと

ある写真を全面に構成していても目を引きました。たくさんのコンテンツがあるため、1面でも各記事のタイトルを紹介しているのもよかったです。特に感心したのは運動会の準備活動を細かく日を追って写真とコメントで紹介した記事です。6年生を中心にみんなの努力で運動会が成功したストーリーが生き生きと書かれていました。また子供の活動だけでなく、単P各委員会の活動や三養基郡PTAの交流会も紹介されていて、PTA活動の必要性を感じることが出来るのもプラス評価です。3連覇おめでとうございます。

(松本哲 編集委員)



中学校の部 最優秀賞 牛津中P 「飛翔」



受賞おめでとうございます 第44回 佐賀県PTA新聞コンクール入賞校

- 小学校の部
    - 最優秀賞 中原小P
    - 優秀賞 「なかばる」
    - 「あおがし」 相知小育
    - 「かささぎ」 鹿島小P
    - 「さいごう新聞」 西郷小P
    - 「のびっこ」 白石小P
    - 「しろやま」 山代東小P
    - 努力賞 「ときわ」 橘小育
    - 「きたっこ」 諸富北小P
    - 「じんろく」 山内東小P
    - 「しいの実」 有田中部小P
  - 中学校の部
    - 最優秀賞 牛津中P
    - 「飛翔」 牛津中P
    - 「なべしま」 鍋島中P
    - 「筑紫嶺」 鳥栖中P
    - 「おやつぼめ」 山内中P
    - 努力賞 「友愛」 有明中P
    - 「みらいの仲間」 玄海みらい学園P
    - 「矢杖」 西有田中P
    - 「青嶺」 青嶺中育
    - 「やましろ」 山代中P
    - 「あおぎり」 有田中P
- ※ ●は全国コンクールに出品

さあ、みんなで一緒に！少年自然の家へ体験の旅に出よう。



佐賀県波戸岬少年自然の家 TEL:0955-82-5507 FAX:0955-51-1036

佐賀県黒髪少年自然の家 TEL:0954-45-2170 FAX:0954-45-2137

県内には、山や高原、海に面した少年自然の家があります。少年自然の家は、ご利用の団体に応じた活動ができる宿泊施設です。各学校の自然体験・宿泊学習、子ども団体の自然体験、キャンプはもちろん、小・中・高等学校のスポーツや音楽団体などの練習や合宿、研修に最適な施設です。皆さま方のご利用をお待ちしております。

【施設利用料(一泊あたり)】  
○3歳～中学生:無料 ○大人:700円 ※別途シーツ代が300円かかります。  
○高校生・学生・教育内活動に係る指導者:300円  
【食費】○小学生以上 朝食:450円 昼食:600円 夕食:780円  
○3歳から就学前 朝食:450円 昼食:500円 夕食:670円

沖縄で日P国内研修

つながりの大切さ学ぶ

全国の中学2年生を対象にした「日本PTA国内研修事業」が3月25～29日の5日間、沖縄県青少年交流の家などで開かれました。県内からは伊万里中の一ノ瀬ラファエルさん(14)が参加し、全国から集った仲間たちと交流を深めました。研修は、コミュニケーション力や他者への理解を高め、社会環境や自然環境への視野を高める狙い。海洋研修や国際交流プログラムなどに取り組み、平和の重要性や人と人とのつながりの大切さを学びました。



伊万里中 一ノ瀬ラファエルさん

感想

私はこの研修を通してたくさんのお出会いがありました。沖縄にある山の自然、海の自然、そして他の県から来た人たち。この出会いで、私は周りを見る意識が変わりました。渡嘉敷島では、キャンプファイアをし、野外炊事でカレーを作りました。みんなで準備や火起こし、食材の切り出しなど協力して作ることができました。とてもいい思い出になりました。また海洋研修では、きれいな海でカヌーやカヤック、シュノーケリングなどで、海の中の自然を見たりして楽しむことができました。



美しい出会い

その日の夜、地元へ戻った後の自分たちの決意表明を書いた。研修に集まった生徒はみんなフレンドリーで優しく、僕の中でも大切な存在となりました。同じ場所、同じ部屋でたくさんのお話をしたこの研修はよい経験で、来てよかったと思える5日間でした。5日間をあっという間に感じるほどみんなと離れたくない、一緒にいたい気持ちとともに涙があふれました。一人一人が大切な存在で、またみんなと会い、一緒に暮らせたと思うています。こんな美しい出会いが、今の私を変える貴重な体験となりました。

県教委へ寄付贈呈式

SAGA部活推進へ 佐賀県へ1700万円寄贈

佐賀県PTA会館を維持管理していた一般財団法人「佐賀県ピーティーイー会館」は2月13日、佐賀県教育委員会に約1700万円を寄贈しました。老朽化などによる同会館の閉鎖に伴い、法人を解散した際の残余財産を寄贈したもので、寄付金は部活動改革「SAGA部活」の推進に活用されます。



落合裕二教育長に目録を贈る松永真治元理事長(県庁)

佐賀県庁で開かれた贈呈式では、同法人の松永真治元理事長が、県教委の落合裕二教育長に寄付金の目録を手渡しました。松永元理事長は「子供たちへの思いというの強くあります。浄財を有効に使って頂ければ」とあいさつ。落合教育長は「県では部活動改革が課題となっており、寄付を有効に使わせて頂き、子供たちを盛り上げていきたい」と謝辞を述べました。(古賀 邦子 編集委員)

市郡連会長に聞く

県内に13ある市・郡・地区PTAの会長を順番に紹介します。それぞれの地区の自慢や課題、今後の展望について語ってもらいます。

第16回

嬉野・藤津 上戸良太会長



かみと・りょうた

県有明海漁協大浦支所に所属し、漁船漁業で竹崎カニ、イダコなどを狙う。仕事の傍ら、子育て、家庭教育にも奮闘。子供の成長と笑顔が仕事の励みという。最近では魚料理が苦手な人も多いが、食卓に美味しい有明海の幸を届けることで、魚が好きな子供が増えることを願っている。趣味は家族旅行。コロナ禍でここ数年は行けていないが、「今年こそは行きたい。USJとかよさそう」と笑顔を見せる。48歳。所属単Pは大浦小。

◆PTA役員を引き受けたきっかけは何ですか。実際に役員をやってみた感想は?

長女が小学3年の時に単Pの副会長を仰せつかったのがきっかけです。単P会長、顧問と3年間経験し、次の年に市郡連会長を仰せつかり、今年で2年目となりました。学校の先生方や保護者をはじめ、たくさんの皆さまと話ができて、多くのことを学ばせていただきました。この役をしなければお会いすることがなかった数多くの人との交流は大切な財産となりました。

◆嬉野・藤津地区Pの自慢できることは何ですか?

地区P役員を引き受け手が少ない上に、区域が嬉野市と太良町に分かれているという難しい状況の中、地区Pの行事などに積極的に参加し、協力していただけることです。

◆地区P会長として気をつけていることはありますか?

PTA活動は時間を取られ、仕事に支障を起こす場合もあり、良いイメージを持っている保護者の方ばかりではありません。少子化が進む中、個人の負担をできるだけ減らし、「誰かがではなく、誰もが」参加したいと思える雰囲気づくりを大事にしたいと思います。

◆今後の嬉野・藤津地区の活動をどう考えていますか?

県PTA連合会は県教育委員会と包括連携を締結しています。嬉野・藤津地区でも嬉野市教育委員会、太良町教育委員会と連携の話を進め、子供たちのために何ができるのか、何が必要かを話し合い、協力できる体制をつくってきたいと思っています。

(聞き手・川下 俊樹 副編集委員長)

連携協定、子供たちのために

私立高校 オープンスクールのお知らせ! 決め手はシガク! 佐賀県私立中学高等学校協会 TEL 0952-37-9181

Table with 9 columns (龍谷, 佐賀清和, 佐賀女子, 佐賀学園, 北陵, 敬徳, 弘学館, 東明館, 早稲田佐賀) and 4 rows (学科名, 日程, 体験内容, 電話番号).

# P先生

## 子育て・親育ち

# うちの家訓

子育てのヒントになるような、それぞれの「家訓」を紹介します。



我が家には家訓というものはありません。ただ子供たちには「感謝の気持ちを忘れないこと」「それに伴う行動をすること」を伝えてきました。感謝することは簡単そうにみえて、「恥ずかしさや「プライド」が邪魔して、大人でも意外と難しいものだと思っています。

子供に対しては、しつけなどよりも感謝することを教えることが最も重要だと思っており、小さいころから「自発的に、

言葉だけでなく行動」で自然と感謝できるようにしてきました。

子供たちは学校生活の中で多くの仲間と共存する上で、悩んだり、投げ出したりしたくなることをたくさん経験していると思います。しかし、この「感謝すること」が、自己肯定感やポジティブ思考、笑顔などへつながり、子供自身の「心のゆとり」を生んでいると感じます。

**池田家の家訓**

### 感謝の気持ちを忘れずに

池田龍治(城西中P)

**浦川家の家訓**

### ルーティンを大切に

浦川千幸(北波多小P)

うちには家訓はありませんが、ルーティンを守るようにしています。朝は歩いて登校します。学校まで20分ほどあります。が、辛抱して通っています。放課後は児童クラブで宿題をして残った分は家でします。帰宅後は手洗いとうがい、次の日の準備をします。

また、うちではプリント類がランドセルに入ったままにならないように、「親」に見せる

物入れボックスを設置していますが、一応声掛けもしますが、ボックスのおかげであまり出し忘れがありません。

これらのことはほかの家庭でも「当たり前」に行われているでしょう。ですが「当たり前」は経験を重ねなければ習得できません。ルーティンに慣れることで経験を重ね、楽しみながら努力と教養を身につけていってほしいと思っています。

## 父親日記

佐賀新聞社の教育担当記者がつづる、教育や子育てをテーマにしたコラムです

### vol.11 机の買い時

「あつ、間違った。朝食の支度をする妻からぼそつと声が漏れた。一人遅れて食べる私のご飯を盛ろうとして、違う茶碗に入れたようだ。そんなことで機嫌を損ねる男ではない。そのまま食べたが、違和感があった。ピンクの茶碗では、なんとなく食が進まなかった。

娘が幼児だった頃、器の専門店です。娘が「あれがいい？」と選ばせて買ったものだ。その頃は何でもピンクを選んでいった。子どもにも選択権を与えれば、まあそうなる。今は妻が使っている。

話は変わるが、小5の娘に学習机は買っていい。以前「子どもが賢く育つ家」との触れ込みのモデルルームを取材し、「幼いうちは親に見守られた学習空間をつくるほうが勉強に集中できる」と聞いた。それで、うちでは食卓が学習机を兼ねている。

学習机を買うタイミングは、昔は小学校入学時が定番だったが、今はまちまちだとか。「自分の机、欲しい？」と聞くと、「うん、お姉さんになつた感じだもん。宝石が付いたような机がいい」と娘。願わくは、ずっと使えるような、使わなくなったら父も使えるような机にしてほしい。買い時はもう少し先だな。(佐賀新聞社 宮崎勝)

いいね！

## 単位PTA通信

三日月中学校育友会は令和4年度より、学校施設や部活動環境および設備の改善に取り組んでいます。

昭和55年に竣工した三日月中学校は、町の人口が8千人規模だったころの仕様です。その後、急激な人口増化に伴い、当時の仕様では対応できなくなりました。平成5年、グラウンド内にプレハブ校舎や自転車小屋が増設されました。

それ以降、経年劣化による施設の老朽化が進んだほか、必要な設備が備わっていないことも多く、子供たちの学習活動や部活動に大きな支障をきたしているという状況です。

### 誇りとなる学校を実現へ

三日月中 育友会会長 陣内玲乃

「今の時代に合った最適な教育環境で学んでほしい」「設備の整った環境で部活動に励んでほしい」という思いを持っており、それを受けてこの取り組みは始まりました。

まだ始まったばかりの取り組みで検討事項が山積していますが、子供たちや先生方、部活動保護者や地域の皆様の意見を大切にし、みなさんの誇りとなるような、未来の三日月中学校をぜひ実現させたいと思っています。

## 佐賀県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)について

### お子様の「ケガ」「育英費用」やお子様とご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



この制度の詳細内容はこちらからも確認いただけます。  
『小・中学生総合保障制度』 <https://www.pta-corin.com/>



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。  
 ○制度に関するお問い合わせ先：0120-228-553 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン) 受付時間:平日午前9時~午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)  
 ○制度引受保険会社: AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 Chubb損害保険株式会社 [令和5年度版:S-230450(2024-03)]